

州同盟會は去る四月三十日大會を開催して社會民衆黨を脱し新黨支持を表明して新黨準備會組織に着手してゐる。

結論

以上(一)、二、三項(一)に示す如く本縣に於ては従来の社民支持準備組合には大なる動搖はないが新黨支持の漸しき準備組合組織の傾向あること、市民層並に農民層には新黨がかなりの勢力を獲得しつつあること、従つて小津氏の新黨への参加は大體に於て其の地盤に左程の不安を生じてゐないことは注目されるのである。

四、社民大衆黨合同問題

(1) 社民福岡準備組合の態度

去る五月五日片山、長岡、渡邊等本部長出席の下に開催した社會民衆黨九州、中關地方協議會に於て合同問題に就き

本縣各代表議員は例れも地方の特長事情を考慮し、就中福岡縣警書記長伊藤御所蔵は、大衆黨入籍支持者が互反主義に反對し無條件合同を主張し左翼的立場を捨て得ない合同は絶対不可能であることを力説してゐる。従つて社民福岡の態度は合同に反對してゐるのである。

(2) 大衆黨福岡準備組合の態度

五月二十日八幡市に開催中央委員會を開催して合同問題に關し協議したる結果一部には合同賛成者もあつたけれども大多数を以て合同反對を決議し其の旨を發表したのである。

結論

以上述べたるが如く地方に於ては従来の同盟の固守關係に關するも且又新黨勢力の中心地たる北九州、就中八幡に於ける組織所從議員關係を考へてみても、其の合同は全く望みま